

初期研修医（ジュニアレジデント）		
1	診療科名	感染症科
2	診療科紹介	感染症科は、全科からのコンサルトに対応する臓器横断的な感染症診療を展開しています。外来や入院では、HIV感染症、抗酸菌感染症、輸入感染症などの専門性の高い疾患を扱っています。総合診療内科、感染制御部や臨床検査部細菌検査室との緊密な連携もあり、診療だけではなく、感染制御やアウトブレイク対応など幅広い業務を担当しています。
3	臨床研修指導医	畠山修司（科長）、笹原鉄平（感染制御部長）、石岡春彦（外来医長）、南建輔（病棟医長）
4	研修概要（特徴）	各科からコンサルトされた症例について、感染症内科学の専門的視点から問題点を抽出し解決策を提示するという一連の作業を指導医とともに実践します。
5	研修内容（方略）	感染症科はチーム制で臨床業務を行っています。初期研修医はチームの一員としてコンサルト対応や入院診療にあたります。発熱など主要症候の鑑別や、多岐に渡る市中あるいは医療関連感染症の診断治療およびフォローアップが主たる研修内容です。移植関連感染症や救急集中治療領域の重症感染症も経験します。とちぎ子ども医療センターからも小児感染症のコンサルトがあります。HIV/AIDSなどの入院症例は主治医チームとして受け持ちます。これらの業務を通して臨床推論と症例要約および提示の反復トレーニングを行います。特に解剖学を踏まえた臓器横断的な思考や微生物学的な視点からの鑑別診断方法は感染症科で効率的に学習できる領域です。
6	到達目標	(1) 一般目標（GIO） 基本的な問診と身体診察の技能を身に付ける。必要な臨床情報の収集ができる。病態を推論し、鑑別診断と治療方針を考えることができる。チーム医療を実践できる
		(2) 個別目標（SBO） 実践可能な抗菌薬の使い方を習得する。臨床微生物学の基本的知識を学ぶ。臨床的疑問を解決するための文献検索の手法を身につける。適切な感染対策を実施できる。
7	週間スケジュール	
7-1	月曜日（午前）	チャートラウンド（10:00-12:00）
7-2	月曜日（午後）	コンサルト業務、入院診療
7-3	火曜日（午前）	コンサルト業務、入院診療
7-4	火曜日（午後）	チャートラウンド（13:30-15:00）
7-5	水曜日（午前）	コンサルト業務、入院診療
7-6	水曜日（午後）	コンサルト業務、入院診療
7-7	木曜日（午前）	コンサルト業務、入院診療
7-8	木曜日（午後）	コンサルト業務、入院診療
7-9	金曜日（午前）	チャートラウンド（10:00-12:00）
7-10	金曜日（午後）	コンサルト業務、入院診療
8	経験できる症例	市中感染症（肺炎、腎盂腎炎、腹腔内感染症、皮膚軟部組織感染症、骨関節感染症、感染性心内膜炎など）、医療関連感染症（人工呼吸器関連肺炎、カテーテル関連尿路感染症、カテーテル関連血流感染症、手術部位感染症、Clostridioides difficile感染症など）、重症感染症（敗血症性ショックなど）、深在性真菌症（カンジダ血症、侵襲性アスペルギルス症など）、免疫不全者の感染症、外傷や熱傷に関連した感染症、HIV/AIDS、抗酸菌感染症、梅毒、COVID-19、輸入感染症など。
9	指導医からのメッセージ	バラエティに富んだ感染症疾患を集中的に経験することで、抗菌薬治療の実践力を身につけることができます。グラム染色や発育した細菌のコロニーを観察する機会もあり、微生物の魅力的な世界を発見できます。専門分野を問わず対応を求められる感染症診療の知識は、何科に進んでも有用な武器になります。ぜひ一緒に楽しく学んでいきましょう。